



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2018年 1月19日 No.215

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum 地域の宝 学校の宝

じだい うご じんぶつ つどう ぼくまつ みたじり 時代を動かした人物が集う 幕末の三田尻

でまえじゅぎょう おとす ほうふしりつにしゅうがっこう ほうふし えどじだい はぎ きてん はぎおうかん
 出前授業で訪れた防府市立西浦小学校のある防府市は、江戸時代、萩を起点とする萩往還
 の終点でした。特に三田尻には重要な港があり、長州藩の施設が多く作られました。三田尻
 おちやや えいうんそう はぎはん はんせいしよき さんきんこうたい げいひんしゅくしゃなど こうかん た
 御茶屋（英雲荘）は、萩藩の藩政初期に参勤交代や迎賓宿舎等の公館として建てられました。
 ばくまつ はちがつじゅうはちにち せいへん きやうと お さんじょうさねとみ しちきやう たいざい もうり
 幕末には八月十八日の政変で京都を追われた三条実美ら七卿がここに滞在しています。毛利
 すいくん ほんきやち みたじりおふなぐら はんしゅ の ござぶね ぶね ほり しゅうり
 水軍の本拠地である三田尻御舟倉には、藩主が乗る御座船などの船をとめるための堀や、修理を
 するための施設がありました。参勤交代では、萩を出発した一行の乗船場となった時期もあり
 ます。幕末期には坂本龍馬や西郷隆盛も三田尻を訪れています。 参考文献『防府市史』『防府歴史文化読本』防府市教育委員会



みたじりおちやや えいうんそう 三田尻御茶屋（英雲荘）



みたじりおふなぐらあと 三田尻御舟蔵跡



きんのう じりゅうかじんのむらぼうとうに さいご おとす ばしよ ほうふ きんのう しし
 勤王の女流歌人野村望東尼（1806~1867）が最後に訪れた場所が防府でした。勤王の志士と
 こうりゅう も ちょうしゅうはん ほしゆは お たかすぎしんさく かくま さいご みと
 交流を持ち、長州藩の保守派に追われていた高杉晋作（187号）を匿い、またその最期を看取り
 ました。薩摩長州の連合軍が倒幕のために三田尻を出発する際は、防府天満宮で勝利を祈願し
 ましたが、その後体調を崩して三田尻で亡くなっています。

かとりもとひこ ほうふ かか も もとひこ はぎ はんい いえ う
 榎取素彦（1829~1921）も防府と関わりを持っています。素彦は、萩で藩医の家に生まれました。
 おだむらけ ようし めいりんかん じゅかく おし よしたしやういん かんげい ぶか しやういん いちやうとひさ
 小田村家の養子となり、明倫館で儒学を教えました。吉田松陰と関係が深く、松陰の妹寿と
 けっこん しやうかぞんじゅく たく はんしゅ もうりたかちか しんらい あつ ばくまつ ちょうしゅうはん ささ
 結婚し、松下村塾を託されています。藩主毛利敬親からの信頼が厚く、幕末の長州藩を支えま
 した。維新後は、群馬県の県令（現知事）となり、産業と教育の発展に力を注ぎました。寿が
 な あと すえ いちやうとみわこ ふみ さいこん ばんねん みたじり す
 亡くなった後、末の妹美和子（文）と再婚し、晩年を三田尻で過ごしました。

参考文献：『榎取素彦』道迫真吾 『至誠の人榎取素彦』吉村洋輔



のむらぼうとうに そう ほうふてんまんぐう 野村望東尼の像（防府天満宮）



ほうとうにしやうえんのち みたじり 望東尼終焉之地（三田尻）



かとりもとひこしん ぐんまけんしん 榎取素彦写真（群馬県史）



かとりもとひこ みわこしやういん ち みたじり 榎取素彦・美和子終焉之地（三田尻）



山口博物館では、明治150年に関連して、テーマ展「奇兵隊の軍服と袖印」を2月12日まで開催しています。